

応募条件	推奨事項	セルフチェック項目	各①～③ いずれかに☑
公益性	会計内容を一般公開していることを推奨します。	①HPなどから、随時だれでも閲覧できる	
		②WEB上に公開できていないが、公開の用意はある	
		③特に公開はしていない・公開の用意がない	
	社会的に広く認識される事業であることを推奨します。	①社会的に広く認識されている事業である	
		②特定の分野には認識のある事業である	
		③限られた人のみに認識された事業である	
特定な人への利益供与になっていないことを推奨します。	①実利用者(参加者)101名～		
	②実利用者(参加者)50～100名		
	③実利用者(参加者)50名未満		
社会的ニーズ	多数の人に必要とされている事業であることを推奨します。	①多数の人の欠乏感が解消される事業である	
		②多数の人があったらいいな、と感じる事業である	
		③少数の人の欠乏感が解消される事業である	
	公益に資する(たくさんの人に役立つ)事業であることを推奨します。	①多数の人に必要とされており、参加の扉は広く開放されている事業である	
		②多数の人に必要とされているが、利用には会員登録などが必要な事業である	
		③今は限られた人が対象の事業である	
必要性	社会的な支援が不足している点を支援する事業であることを推奨します。	①必要性から生まれた事業である	
		②やりたいことを社会的支援に結びつけた事業である	
		③その事業が社会的にどういった意味を持つかわからない	
先駆性	人や社会に先立って行われている事業であることを推奨します。	①他では行われていない事業である	
		②モデルとなる事業が他にあるがまだ少ない	
		③一般的に行われている事業である	
計画性	計画を立てるにあたっては、複数の人と方法や手順を話し合うことを推奨します。	①方法や手順が十分話し合われている	
		②方法や手順はある程度話し合われている	
		③方法や手順は一人で考えたものである	
妥当性	助成の対象に対して複数の見積もり等を行うことを推奨します。	①希望金額は複数の見積もり等から算出した	
		②希望金額は1件の見積もり等から算出した	
		③希望金額は一般的な相場として算出した	
	助成の対象が事業の目標達成のためによく検討されて選ばれたものであることを推奨します。	①助成の対象となるものは複数の人とよく検討し決めたものである	
		②助成の対象となるものは担当者が検討し決めたものである	
		③助成の対象となるものは助成金額に合わせて申請した	
継続性	事業に継続性があることを推奨します。	①事業に継続性がある	
		②単年度の事業だが何年も繰り返し行われる事業である	
		③単年度事業である	
発展性	事業に発展性があることを推奨します。	①発展性があると考え	
		②長い間には発展していこうと考える	
		③発展という視野はない	
	計画の執行により、期待される効果が生まれる事業であることを推奨します。	①計画の執行により必然的に効果が生まれる	
		②効果は予測であるが十分に期待できる	
		③計画が執行されても期待される効果が生まれるまで時間差がある	
実現可能性	実現可能な計画であることを推奨します。	①特に問題なく計画は実現できる	
		②計画は予想であるが実現の可能性が高い	
		③計画は希望であり計画通りに行かないことも考えられる	
創造性	問題点を意識し解決のためにはどうすればよいか考えることを推奨します。	①課題を意識し課題解決に対して積極的に何が必要かを考え実行する	
		②課題は感じているが忙しくその場での対処に陥りやすい	
		③課題を特に感じていない	
	自由な発想やアイデアを出し合う場があり、方法や仕組みを自ら創り出すことを推奨します。	①活発に議論する場がある	
		②アイデアを出す人がいる	
		③あまりそういったことを話し合う場がない	
組織運営	運営者の考えによって始めた事業(活動)であることを推奨します。	①運営者の考えによって生まれた事業である	
		②提案(または委託)された事業であるが積極的にかかわっている	
		③提案(または委託)された事業である	
	運営者はそれぞれ自ら進んでやっという気持ちを持つことを推奨します。	①多くの運営者に自主性がある	
		②少数の運営者には自主性がある	
		③与えられた仕事をこなしていくことを考えている人が多い	